

人口の減少を緩やかにするために、  
若者ととともに

暮らしやすいまちづくりを目指します。

日野町長 景山享弘

自然の恐ろしさを体感した一年

新年あけましておめでとうございませう。町民の皆さまには、ご家族おそろいで平成27年の輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、日頃から、本町のまちづくりへのご支援とご協力に深く感謝申し上げます。

昨年、わがまちでは大きな災害もなく、平穏な一年でありましたが、国内では広島市の記録的豪雨による土砂災害、長野と岐阜の県境に位置する御嶽山

の噴火などが発生し、各地に甚大な災害をもたらすとともに多数の尊い人命が失われ、心を痛めました。自然災害の恐ろしさを体感した年であり、防災対策の必要性を強く感じた年でもありました。

戦後70年。平和を考える一年に

さて、今年、戦後70年の節目の年でもあります。戦争を体験された方々は70歳を超え、戦争の記憶は遠くなりつつあります。しかし、戦争が残した傷跡はすぐに消えることは

ありません。戦後日本の復興は、この大戦の大きな犠牲のうでなされ、今日の平和国家が生まれました。私たちはこれからもこの平和主義を国是としながら、決して武力で物事の解決を図るのではなく、話し合いによる外交交渉での息の長い取り組みを求めています。

一年は、平和の継続のため、どうすれば良いのかを考える年にしたいものです。

子育て・定住・健康を  
町政の三本柱に

今年、町として人口の減少を緩やかにするために、若者ととともに暮らしやすいまちづくりを

目指していきます。そのためには、(1) 子育てへの支援、(2) 若者の定住促進、(3) 健康的に暮らしていくための医療と保健、福祉の連携、以上3点を重点的に取り組みます。

また、これからのまちづくりを担う若者が、夢や希望を持って暮らすことができるまちを、安心して子どもを産み育てることができ、町民と行政がともに手を組み推し進めようではありませんか。

2015年の年頭にあたり、この一年が町民の皆さまにとって幸せな年になりますよう祈念し、新年のごあいさついたします。

冬の鵜の池全景 (日野町ふるさと百景より)

2015年 新年のごあいさつ